

製品名: NOTCH4 (18Z4) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe14808**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IP 1:50-1:100
分子量	210kDa

抗原情報

遺伝子名	NOTCH4
別名	NOTC4; hNotch4; INT3; Notch homolog 4;
遺伝子 ID	4855.0
SwissProt ID	Q99466
免疫原	ヒト NOTCH4 の組み換えタンパク質

背景

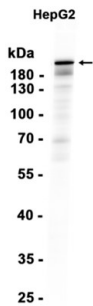
膜結合リガンド Jagged1、Jagged2、Delta1 の受容体として機能し、細胞運命決定を制御します。解放されたノッチ細胞内ドメイン

(NICD) を介してリガンドが活性化されると、RBPJ/RBPSUH と転写活性化因子複合体を形成し、スプリット遺伝子座のエンハンサーの遺伝子を活性化します。分化、増殖、アポトーシス プログラムの実行に影響します。発達中の血管系における分岐形態形成を制御している可能性があります (類似性による)。膜結合リガンド Jagged1、Jagged2、Delta1 の受容体として機能し、細胞運命決定を制御します。解放されたノッチ細胞内ドメイン (NICD) を介してリガンドが活性化されると、RBPJ/RBPSUH と転写活性化因子複合体を形成し、スプリット遺伝子座のエンハンサーの遺伝子を活性化します。分化、増殖、アポトーシス プログラムの実行に影響します。発達中の血管系における分岐形態形成を制御している可能性があります (類似性による)。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



NOTCH4 (18Z4) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HepG2 細胞抽出物のウエスタンブロット分析。